目 次

頁

Ⅰ部　概要編

１．研究の概要 1
２．研究の背景 1
３．研究の成果目標 1
４．研究の成果の活用方針 2
５．研究内容 4
　５．１　アーバンスケルトン方式を用いた中心市街地の再整備手法の開発 4
　５．２　リバース・モーゲージを活用した木造密集市街地の整備手法の開発 10
　５．３　都市構造の評価 18
６．研究実施体制 24
＜参考資料＞　研究概要（スライド版） 25

Ⅱ部　本　編

第１章　アーバンスケルトン方式を用いた中心市街地の再整備手法の開発
　１．１　研究の成果目標と活用方針 35
　１．２　スケルトン・インフィル分離による新たな住宅供給・
　　ストック活用方策の検討 36
　１．３　都市建築物の部分的・段階的整備に向けた確認・検査方式の検討 45
　１．４　人工地盤を用いた市街地整備のスタディ 56
　１．５　まとめ 68

第２章　リバース・モーゲージを活用した木造密集市街地の整備手法の開発
　２．１　はじめに 69
　２．２　市街地整備型 RMS のモデル構築 70
　２．３　シミュレーションによる融資可能額の試算 76
　２．４　市街地整備型 RMS の潜在的需要の把握 93
　２．５　まとめ 97

第３章　都市構造の評価
　３．１　はじめに 99
　３．２　都市構造のコンパクト化概念の整理 99
　３．３　都市構造の現状把握手法 111
　３．４　都市のコンパクト化に係る事業評価手法の開発 118
　３．５　まとめ 129